

電動昇降座イス
独立宣言
レスキュー
品番：DSRR
取扱説明書

保証書つき

保管用







- 本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は大切に保管し、必要なときお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、右の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

警告

	<ul style="list-style-type: none">● 下記の人が、ひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する (1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)子供 事故や体調不良を起こすおそれがあります。● 周囲に人がいたり、物がある場所では十分に注意する 昇降時、イスがまわりの人に当たってけがをさせたり、すわっている人がまわりの物に当たってけがをするおそれがあります。 特に下降時は、座板の下に何も無いことをご確認ください。● 使用時は、必ず脚を取り付ける 転倒し、けがをするおそれがあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 不安定な場所で使用しない 転倒し、けがをするおそれがあります。● 踏み台にしたり、肘掛けに座るなど、目的以外の使いかたをしない 足をすべらせたり、イスが転倒し、けがをするおそれがあります。● 許容荷重（85kg）以上の体重の人は使用しない イスが破損・故障し、けがをするおそれがあります。● ひざに座らせたり等、ふたり以上で座らない 転倒したり、イスから落ちるなど、けがをするおそれがあります。● 座板下降時、座板の下に足などを入れない 座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。● 座板の端に座らない●片側にだけ衝撃や負担をかけない 座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。● イスに飛び乗ったり、故意に勢いをつけて座ったりしない イスが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。● お子様を本体の上で遊ばせたり、背もたれや肘掛けの上ののったり座ったりさせない イスから落ちたり、イスが転倒し、けがをするおそれがあります。● イスを持ち上げて運ぶ際は、2人以上で行い、必要以上の衝撃を与えない イスが破損し、故障の原因となります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none">● 分解・修理・改造は絶対にしない 発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
 指に注意	<ul style="list-style-type: none">● 昇降時や移動時、隙間（特に背もたれと本体の隙間）に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。● 座板と安全プレートの上に指や物などを入れない 指などはさみ、けがをしたり、イスが破損・故障するおそれがあります。● 肘掛け、座板の折り曲げ時に、可動部分に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示(図記号)で区分し、説明しています。(下記は絵表示の例です)



気をつけていただきたい「注意喚起」内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容を説明しています。



必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。



注意



禁止

- 屋外や高温・多湿な場所で使用・保管しない
感電および故障の原因になります。
- 火気を近づけない
発火のおそれがあります。
- 人が座ったまま、移動させない
転倒・衝突などにより、けがをするおそれがあります。
- 交流100V以外では使用しない
火災や感電の原因になります。
- 10分以上の連続運転はしない
故障の原因になります。
- 電源プラグにゴミ・水分を付着させない
感電やショート、発火のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない
火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは、確実に最後まで差し込む
ショートや発火のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを持たない
感電のおそれがあります。



電源プラグを抜く

- 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
感電や発火のおそれがあります。
ただちに点検修理を依頼してください。
- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電ややけどのおそれがあります。
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショート、発火のおそれがあります。

使いかた

電源コードを接続する。

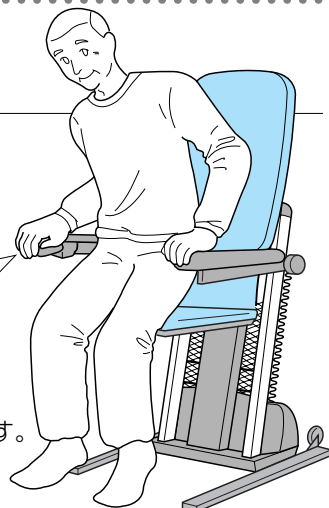
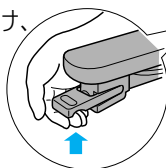
- 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。

座る 立ち姿勢から

1

上下動レバーを上へ引く。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続け、座板を座りやすい位置まで上げておきます。



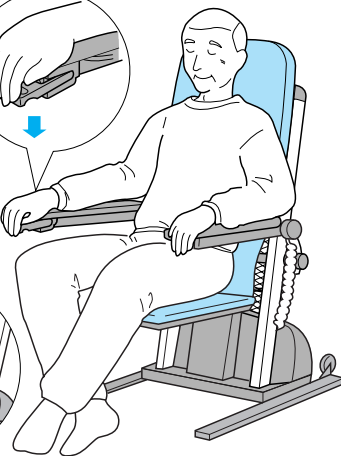
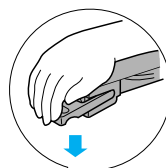
2

腰をおろす。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰をおろします。
- 足腰に負担をかけることなく座板に腰をおろすことができます。

⚠ 警告

- 座板の端に座らない
- 片側にだけ衝撃や負担をかけない
座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。



3

上下動レバーを下へ押す。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを下へ押し続け、(指を離せば止まります) 座板をお好みの高さまで、おろしてください。
- 座板は床面まで下がると自動的に止ります。



⚠ 注意

- 座板下降時、座板の下に足などを
入れない
座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

座る 座姿勢から

1

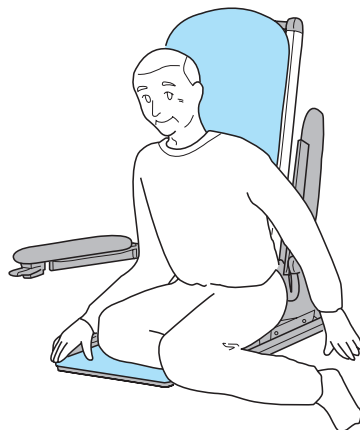
上下動レバーを下へ押す。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを下へ押し続け、座板をいちばん下まで、おろしてください。
- 座板は床面まで下がると自動的に止ります。

2

体をおく。

- 床から、ゆっくりと「にじる」ように移乗してください。
- 肘掛けをはね上げて、移乗するときは、座面にきちんと座ったあと、肘掛けを元に戻します。



3

上下動レバーを上へ引く。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続け、座板を座りやすい位置まで上げます。

立つ

1

上下動レバーを上へ引く。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し続け、座板を立ちやすい位置まで上げます。

2

腰を上げる。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰を上げます。

⚠ 警告

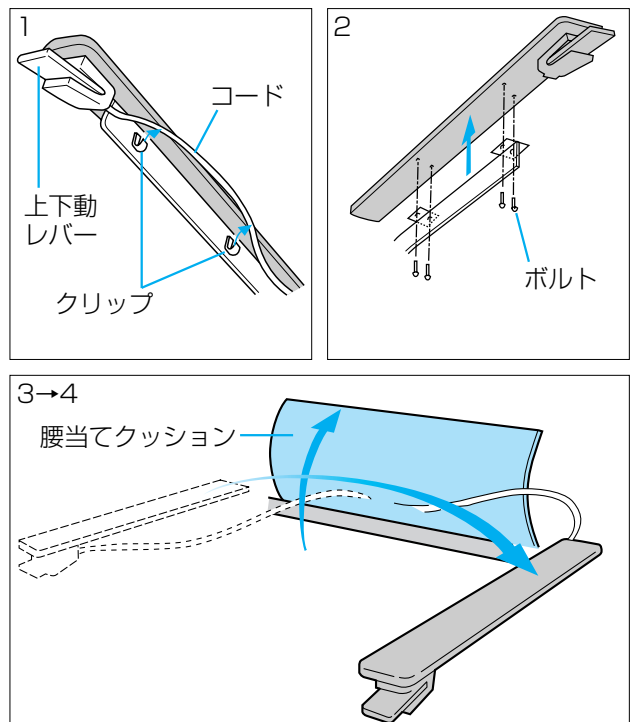
- 下記の人が、ひとりで使用するとき、必ず周囲の人が注意・介護する
(1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)子供
事故や体調不良を起こすおそれがあります。



上下動レバーの入れ替え

- 上下動レバーは、通常は右手側の肘掛けにあります。お好みにより左手側に付け替えることができます。

1. 右手側肘掛けのクリップ(3ヶ所)から、コードを抜きます。
2. 肘掛けを固定しているボルト(4本)を六角棒スパナ(対辺5)で取り外します。左手側肘掛けも同様に取り外してください。
3. 腰当てクッションのマジックテープを座板から外し、上にめくります。
4. 右手側肘掛けと左手側肘掛けを入れ替えます。
5. 両方の肘掛けをボルト(8本)でしっかり固定します。
6. コードをクリップ(3ヶ所)に差し込みます。
7. 腰当てクッションのマジックテープを座板に取り付けます。

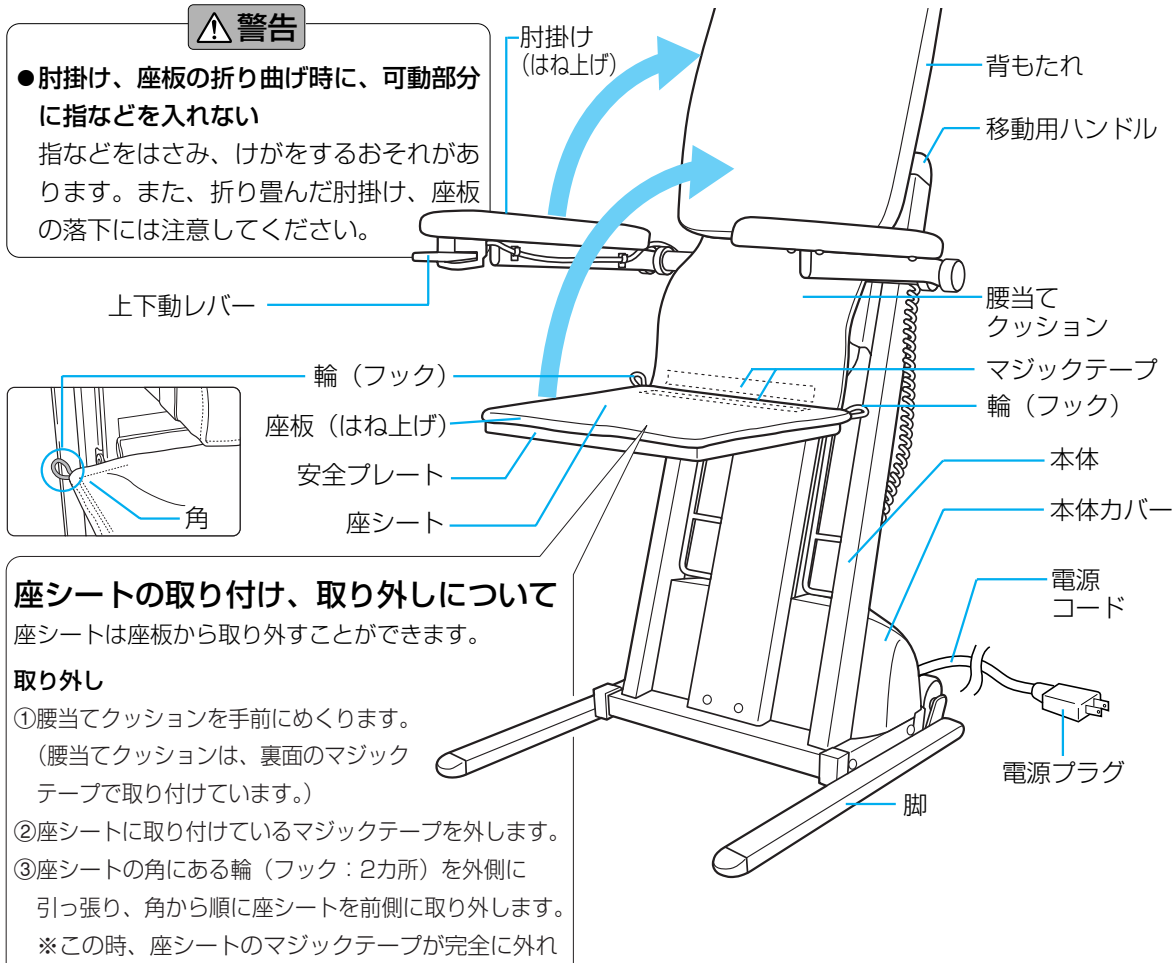


各部のなまえと組み立て

警告

●肘掛け、座板の折り曲げ時に、可動部分に指などを入れない

指などはさみ、けがをするおそれがあります。また、折り畳んだ肘掛け、座板の落下には注意してください。



座シートの取り付け、取り外しについて

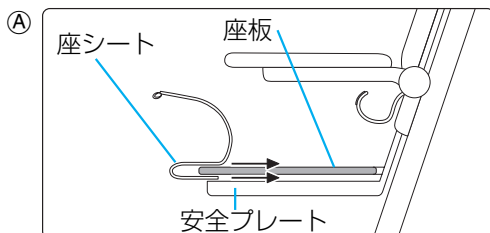
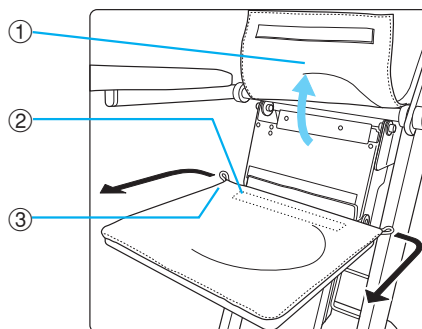
座シートは座板から取り外すことができます。

取り外し

- ①腰当てクッションを手前にめくりまわします。
(腰当てクッションは、裏面のマジックテープで取り付けられています。)
- ②座シートに取り付けているマジックテープを外します。
- ③座シートの角にある輪(フック：2カ所)を外側に引っ張り、角から順に座シートを前側に取り外します。
※この時、座シートのマジックテープが完全に外れていることを確認してください。

取り付け

- ①座シートの前側を座板と座板の裏面にあるスポンジの間に挿入してください。
- 座板の前側から座シートを角までかぶせてください。
※このとき座シートの挿入部が座板と座板の裏面にあるスポンジの間で「よじれ」などが無いことを確認してください。
- 座シートをマジックテープで取り付けてください。
- 腰当てクッションをマジックテープで取り付けてください。



注意

- 座シートの前側(袋状になっている部分)で安全プレートをいっしょにかぶせない。
安全プレートが働いた状態になり、下降することができません。
また、座シートを正しく装着できません。

組み立て

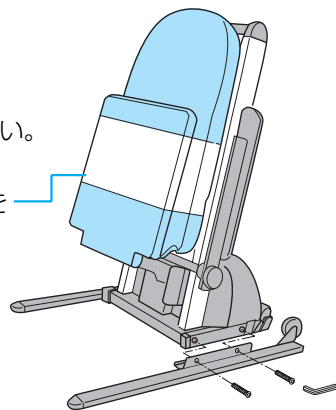
- 脚（左右）を、付属の六角棒スパナ（Lレンチ）を使い、六角穴付きボタンボルト（M8×20）でしっかりと固定します。脚は、座板と肘掛けが跳ね上がっている状態で、組み立ててください。※ボルトにゆるみがないか、定期的に確認してください。

脚を取りつけた後、このフィルムを
取りはずしてください。



警告

- フィルムを取りはずす際は座板をしっかり手で支える
座板が落下して、けがをするおそれがあります。



こんなときは…

座板が上下しないとき

- 電源プラグが抜けていませんか？
- 下降しない 座板裏の安全スイッチが働いていませんか？
→座板の下に足や物などを入れないでください。
- 座板がはね上がった状態になっていませんか？
→はね上がった状態では上下しないことがあります。

点検後、なお異常があったら

ただちに使用を中止し、事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

移動するとき

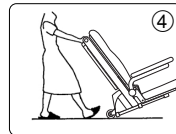
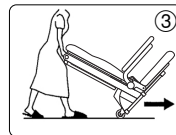
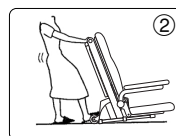
- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②移動用ハンドルを両手で持ち、本体カバーに足を掛けて、イスを手前にかたむけてください。
- ③車輪が床に接地したことを確認し、イスを前に移動させてください。
- ④本体カバーに足を掛けながら、ゆっくりイスをおろしてください。



- イスをかたむける、または床におろす時は、本体カバーに“**しっかり**”足を掛ける。
足やものがはさまれてけがをしたり破損するおそれがあります。

お手入れのしかた

- 水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。
- ベンジン・シンナー・ワックス・化学ぞうきんなどで拭いたり、たわしでこすったりしないでください。
- お茶やコーヒーなどをこぼしたときは、乾かないうちによく拭きとってください。
- 座シート（ポリエステル100%）を洗濯する際は、通常洗濯可能ですが、毛足が長い場合「ドライクリーニング」をお勧めします。



仕様

サイズ	610(幅)×825(奥行)×950(高さ)mm
重量	42kg
最大許容荷重	85kg
座面高さ	25～515mm
入力電圧	AC100V 50/60Hz(コード長3m)
昇降速度	20mm/sec(電動上下昇降)
定格消費電力	MAX 200W
ヒューズ	125V 5A
定格時間	10分

品質表示

構造部材	機構部 金属(鋼・アルミニウム合金)
	背もたれ部 合板
	肘掛け部 繊維板
	座部 金属(アルミニウム合金)
	脚部 金属(鋼)
表面加工	カバー ABS樹脂・ポリスチレン
	金属部 メラミン樹脂塗装
	張り材 ポリ塩化ビニル・ポリエステル
クッション材	ウレタンフォーム